



JPI催しのご案内

2022
1

公益社団法人日本包装技術協会

— 2021年度より本催しの名称が変わります —

2021年度より本催し（研究会）の名称をJPIWEBフォーラムとさせていただきます。
2021年度につきましては、ウェビナー（WEBセミナー）で皆様に情報発信を致します。

●開催要領

日 時 ①令和4年1月20日(木) 10:00～12:00 / ②令和4年1月21日(金) 13:30～15:00
③令和4年1月25日(火) 10:30～12:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

① 1月20日(木) 10:00～12:00 JPI本部主催

【テーマ】国内外におけるバイオプラスチックの動向について

温室効果ガス排出の増加に伴う地球温暖化の懸念が叫ばれて久しいが、近年は単なる地球環境問題に留まらず、現在注目されているSDGsのように生態系との調和や人類の幸福感等を含む幅広い対策が推奨されるに至っている。一方我が国の対応はこれらの動きからかなり遅れており、既に周知遅れとだとも言われている。本講演で取り上げるプラスチック製品についても同様であり、2002年のバイオマスニッポン総合戦略、バイオテクノロジー戦略大綱、2005年愛知万博以後は関心が薄れ、製造の空洞化にも至ってしまった。しかし漸く我が国政府も重い腰を上げ、2016年にプラスチック資源循環戦略、地球温暖化対策計画においてバイオマスプラスチックの導入とGHG削減目標が数値化（2030年までの導入量197万トン、削減量207万トン）された。バイオマスプラスチックの普及拡大を組み込んだ2002年の2戦略では数値目標が示されずに終わったが、この度数値目標を示したことでその達成に向けた仕組み構築のための関連施策が検討され、2021年1月バイオプラスチック導入ロードマップの発出、同年6月のプラスチックに関わる資源循環の促進等に関する法律（通称促進法）成立、そして促進法の肉付けと関連法規制の改正等が今まさに検討されているのは大きな進歩と言える。本講演では我が国におけるこれらの動きと海外での関連動向を対比しつつ、より実現性の高い施策施行の道を考えてみたい。

【講 師】(一社)日本有機資源協会(北海道大学名誉教授)

木村俊範氏

② 1月21日(金) 13:30～15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】海のプラスチック —測る,そしてThe Missing Plasticsを追う—

近年、海洋のプラスチック汚染が大きな地球環境問題として注目されている。この問題を解決するためのさまざまな取組が世界中で行われている。これらの取組を効果的にするためには、科学的な情報に基づく必要がある。しかし、我々は未だにマイクロプラスチックの計測に苦勞し、海洋におけるプラスチックの分布実態を捉えられずにいる。ここでは、JAMSTECが現在取り組んでいる海洋プラスチックの分布調査とマイクロプラスチック計測手法の開発について紹介する。

【講 師】国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境部門海洋生物環境影響研究センター・センター長

藤倉克則氏

③ 1月25日(火) 10:30～12:00 JPI関西支部主催

【テーマ】SDGsを踏まえた包装設計プロセスの変化と実践事例

従来の安全・品質・経済性という価値観に対し、SDGsが共通目標となって以降、働き方・環境・パートナーシップなどが評価軸に加わった。連動して会社方針も「安心・環境・共感」が上位概念として掲げられ、我々のマインドセットにも繋がった。包装設計においても、設計要件の見直しから始まり、包装個別の出来栄評価から物流全体の効率を高めつつ女性・高齢者が活き活きと働く職場創り、また産業界の構造変化に対応したリードタイム短縮・環境負荷低減を実現するDX化などに取り組んでおり、今回はその事例を紹介する。

【講 師】(株)デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 包装技術開発課 リーダー

谷口将之氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

「第11回パッケージイノベーションセミナー」(オンライン配信)

— 新時代に貢献するパッケージの挑戦 —

●開催概要

日時：令和4年1月28日(金) 13:00~16:50 ※Zoomを利用したオンラインセミナー形式

参加費：

	1名分参加費	会 員	会員(3名同時申込1名あたり)	一 般
本体		10,000円	9,000円	15,000円
消費税10%		1,000円	900円	1,500円
税込合計		11,000円	9,900円	16,500円

●プログラム

時間	テーマ	講演者
13:00-14:10	『アサヒグループが共創で進めるイノベーション&サステナビリティの挑戦』 ～生ジョッキ缶、森のタンブラー、もぐカップ、UPCYCLE Bなどを例として～	アサヒグループホールディングス(株) 事業企画部 古原 徹 氏
14:20-15:30	『サステナブルな紙素材「オリジナルブレンドマテリアル」の開発』	ソニーグループ(株) クリエイティブセンター 廣瀬 賢一 氏
15:40-16:50	『日清食品の容器包装への取組 ～EARTH FOOD CHALLENGE2030について～』	日清食品ホールディングス(株) グローバルイノベーション研究センター 食品開発部 包材グループ 栄 賢治 氏

定 員：100名

申込方法：当会ホームページ上よりお申込みください。(近日UP予定)

当会ホームページURL：<https://www.jpi.or.jp/>

お問い合わせ先：公益社団法人日本包装技術協会 パッケージイノベーションセミナー係 担当：竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

「第12回食品包装コース」

リニューアル!

— 仕事に求められる食品包装全般の知識を集中講義 —

●開催概要

日時：2022年2月14日(月)・21日(月)・22日(火)・28日(月) 全4日間

会場：公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

定 員：30名 (定員になり次第、締め切らせて頂きます)

受講費：JPI会員44,000円/一般66,000円 (消費税・テキスト代含む)

講 師：加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所

坂巻 千尋 氏 トップラン・ヒューマン・インフォメーション・サービス株式会社 (THIS)

プログラム：

第1回	2月14日(月)	「食品包装の役割」	第3回	2月22日(火)	「食品変質の防止と包装」
第2回	2月21日(月)	「食品包装用の包装材料」	第4回	2月28日(月)	「食品包装の衛生性と包装機械」[環境問題と今後]

申込方法：当会ホームページにて詳細をご確認の上お申込みください。

<https://www.jpi.or.jp/saiji/seminar/2022/0214.html>

お問い合わせ先：公益社団法人日本包装技術協会 食品包装コース係 担当：竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp